



令和6年度郡三師会と養護教諭との交流会特集号②（アンケートのまとめ）

（1）岐阜県教育委員会体育健康課（県学校保健会）の阪野きよみ先生のご講演についての感想や学んだこと、これから生かしていきたいと思ったこと

- 100年以上前の廣瀬さんの時代であっても、現在の私たちと同じように、悩みながらも「子どもたちの心身の健康」のために奮闘していたのだとわかり、養護教諭だからできることを精一杯やっていたと強く思いました。養護教諭は、学校では基本的に一人ではありますが、多くの先輩方や郡内の先生方との交流を大切に、自分自身が学び続けなければと感じました。そして、校内でも協力できる人を増やしなが、一緒に子どもたちを育ていけるような養護教諭になりたいです。日々の執務などに追われ、養護教諭という仕事のすばらしさを時々忘れてしまいがちなので…阪野先生のお話を聞くことができ、気持ちがグッと引き締まりました。この度はありがとうございました。
- 効果的な実践や主体性を引き出す指導方法のお話を聞き、児童に身に付けたい力をこちら側の満足だけで、ただ一方的に教えるだけでは全く意味がないということに改めて気付かされました。保健指導等が児童にとって意味のある指導になるよう、今一度指導内容や発問、資料を工夫する必要があると感じました。
- これからの養護教諭に求められるものについて、阪野先生のご経験をもとにお話していただいたので大変勉強になりました。実践を行う上で失敗することはありますが、その失敗で諦めるのではなく、失敗した原因を考察し、次に生かしていくことが大切であると学びました。実践を続けていけるようにしたいと思います。
- 子ども達が心も体も健康に過ごせるように、「目」をかけること・「声」をかけること・「手」をかけること・「心」をかけることを大切にしながら、教職員との連携を生かして、関わりを繋ぎ続けられる対応をしたいと思いました。また、メディアコントロールの例にあったように、様々な角度から事象の背景などを探り、実践に繋げていきたいと思いました。
- 養護教諭の歴史から今日的課題、養護教諭の基本、大切にしなければいけないこと等について改めてお話を聞くことによって、一旦立ち止まって考えることができたいい機会でした。県の教育委員会の立場で阪野先生に、揖斐郡の部会でお話を聞けたことがとても有難かったです。
- 養護教諭の役割が多岐に渡り、求められることも年々増え、日々の多忙さから子供に向き合う際に自分が大切にしてきたことを忘れかけていましたが、阪野先生の話をお聞きし、なぜ、自分が養護教諭になったのか、子供とどのように接していきたいのかを思い出ことができました。また、日々他の職員や関係機関、保護者との連携を大切にしながら対応するよう心がけていますが、一層職員との会話を大切にしていきたいと思いました。お話を聞きながら、込み上げてくるものがあり涙しそうになりました。貴重なお話をありがとうございました。
- 不登校傾向児童の対してどのように関わるべきかと悩むことも多くなっていますが、チーム学校で連携しながら途切れなく関わり続けることの大切さを改めて考えさせられました。心、目、声、手をかけることを大切に児童を向き合っていきたいです。
- 時代は変わっても保健室に来室する児童生徒は変わりません。常にアンテナを高くして、小さなSOSに気付ける養護教諭でありたいと感じました。また、養護教諭の仕事をしているからには、事例から学ぶこともとても大切で、聞いただけに終わらず実践に生かしていきたいです。



（2）養護教諭部会からの質問にご回答いただいた三師会の先生方のご指導（ご回答）から学んだこと、これから生かしていきたいと思ったこと及び感想

- 様々な型のアデノウイルスに関する出席停止の扱いについて教えていただき、とても参考になりました。また、手足口病の対応についてもですが、保護者からの問い合わせ等に自信をもって回答できると思います。揖斐郡の環境衛生検査は薬剤師会の先生方の丁寧なご指導のおかげで、きちんと検査ができていると感じています。今後ともご指導、よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。
- 手足口病は、毎回話題になるので根拠となるお話が聞けてよかったです。ネットでも調べられますが、ネットでの情報で「・・・」では根拠に弱いので説得力があるお話でありがたかったです。
- 今年は、コロナやインフルエンザ以外の手足口病やアデノウイルスといった感染症の流行があり、学校でもどのように対応すればよいのか困っていたのでお話を伺えてよかったです。また、児童の腹痛対応についてもよくある症状ですが、先生方でも対応が難しいと伺い、問診や経過観察など丁寧に対応していきたいと思いました。
- 手足口病については今年度本当に対応が難しく、苦勞しました。医師会の先生の言われたように、まずは医療機関の受診をお願いするにしたいと思います。
- 手足口病やアデノウイルスなど出席停止となる感染症の症状などについて学ぶことができました。

感染を広げないために学校でできることを考え、対策に努めていきたいです。また、アレルギーに関しては、学校では怪しいものは除去しておこうとしてしまいますが、本来は「除去しなければいけないものだけを、確実に除去する事」が求められていることを念頭に置き、保護者や本人の意向も踏まえながら対応をしていきたいです。

- 内科の先生より、腹痛を訴える児童の対応についてご回答を聞いて、これまで以上に症状をよく観察し、訴えを詳しく聞いて判断していきたいと思いました。また、眼科関係のご回答から、スマートフォンやタブレット使用時の姿勢について指導する際に、今回学んだ視力の左右差の話も交えて伝えていきたいと思いました。
- 各先生方から丁寧なご回答をいただき、日々の実践の不安が軽減できました。特に手足口病のウイルスが1か月程度糞便中に排出されており、手洗い消毒の大切さを実感できました。
- 腹痛については、教室へ帰してよいのか、帰宅させた方がよいのか、毎度判断にもものすごく悩みます。今回のお話を聞いて、特に注意すべき所見を教えていただいたり、訴えを詳細に聞いたり視診をしたりということが一番重要であることが分かったので、実践につなげていきたいと思います。
- 原因のわからない腹痛について、腹膜刺激症状の触診・問診、また嘔吐や下痢症状からどのようにアセスメントするといいいのか、またその難しさについて学ぶことができました。腹痛での来室が多いとつい心理的な要因を疑ってしまいがちですが、丁寧な観察と聞き取りを心がけたいと思います。
- 歯列不正は見かけの問題だけでなく、栄養障害やう蝕のリスクを高めるということを知り、改めて歯科健診とその後の治療勧告の大切さを実感しました。このような専門的な事実を伝えることで、保護者の意識を変えていくこともできると考えるため、必要に応じて学校医や学校歯科医、学校薬剤師等、関係者と連携して、子供の健康を守っていきたいです。
- 歯科のところで、歯列咬合の受診を勧める上で、生涯の健康に歯並びはとても大切であるということを知ったので、子どもたちに発信していきたいです。
- 学校環境衛生活動の先進的な取組に学び、自分の学校の取組を更に進めて行きたいと思いました。
- 私たちには、専門性が求められることが沢山ありますが、まだまだ未熟で分からないことばかりです。しかし、この機会があることで医療のプロフェッショナルな方から、日々の職務の疑問を解決するアドバイスをいただけることは、貴重な機会です。どんな質問の回答の中にも、必ず知らないことがあり、「なるほど」と勉強になります。お忙しい中、時間を割いてこのような機会を設けてくださる三師会の方々に頭が上がりません。ありがとうございました。
- それぞれの三師会の先生方とも、養護教諭の日々の執務に関わることの分かりやすい解答だったので、とても有難かったです。学ぶことができました。
- 毎年、多くの質問に専門的なお立場から丁寧に回答していただき、大変勉強になります。ありがとうございます。日々の執務に生かしていきたいと思いたいと思います。
- 三師の先生方からのお話は、私たちが勤務校で先生方に質問された時などに自信を持ってお答えすることができる根拠となり、大変勉強になります。ありがとうございました。
- 毎回、お忙しい中多くの先生にご準備いただき感謝しています。今後も、継続していただきたいと思いたい。
- 専門的なお立場からご指導いただき、日々安心して仕事をする事が出来ます。ご指導いただいたことを保護者や校内職員に広めていきたいと思いたい。



(3) 会のもちかたについて&日常感じていることについて

- 日々の執務を行う上で、医学的な疑問を持つことがあります。この交流会を通して専門的な立場からご回答いただけるので大変心強いです。ありがとうございます。
- 直接日常的に感じている疑問を三師会の先生方にご回答いただけてとてもありがたい機会だと思います。出席停止に関しては校長先生もお話を聞いた方がよい(有意義な内容である)と本校の校長が言ってみえました。
- 今回も質問、回答を取りまとめでいただき、とても分かりやすかったし、会の進行もスムーズでした。ありがとうございました。特集号①を翌日に配信していただきありがとうございました。全職員に回覧させていただきます。
- 三師会の先生方との交流会というのが初めてでしたが、日々疑問に思うことなど直接質問が出来る機会を作ってください、ありがとうございます。坂野先生のお話の中のCOCOLOプランにもあるように、校内教育支援センターを運営するための職員を一人確保していただきたいと日頃から感じています。誰一人取り残されない学びの保障をするために養護教諭として日々子どもたちと向き合っていきたいです。
- 例年貴重なお時間をいただき、感謝しています。1人職の抱える不安の軽減に大きく繋がっています。ありがとうございます。
- 普段の執務に活かせることばかりで、大変ありがたく思っています。学校に基本1人しかいないという立場で判断などに不安に思うことが多い中、日常の疑問を解決できるこのような会が今後も続いてほしいと思っています。また、専門的な立場から質問に答えて頂いたことを、本校の職員へ回覧し、共有しました。
- 分からない・困ったことが相談できるので、とても勉強になります。